

## EMLG/JMLG Annual Meeting 2016報告

JMLG secretary

高椋利幸 (佐賀大院工学系)

Annual Meeting 2016は、9月11日(日)から16日(金)の6日間、ギリシャ、クレタ島の西部に位置するハーニアのプラタニアスにおいてMinoa Palace Resort and Spaを会場として開催された。”Recent Progresses on the Experimental and Theoretical-Computational Techniques for the Study of Liquids and Supercritical Fluids From Simple to Complex Systems”をテーマとして、Prof. Jannis Samios (University of Athens, Greece)がチェアを務めた。初日15:00からの開会の挨拶につづき、Prof. M. Parrinello (ETH Zurich, Switzerland)によるOpening Lecture 1件 (45分)、Lecture 64件 (30分と20分) が最終日15:30まで行われ、活発な議論がなされた。この間、初日19:30からWelcome Reception、第3日18:15-21:00にPoster発表 68件が実施された。また、第2日18:15-22:00にはハーニア市街へのバスツアー、第4日11:30からは希望者が別料金で参加したExcursion、そして、第5日20:00からConference Dinnerが催された。

参加者は25カ国から121名であった。日本からの参加者が18名と最も多く、開催国のギリシャから16名、ドイツ13名、米国10名、フランス9名、ロシア8名、英国7名、ポーランド6名、ハンガリーとスペインから各4名などが参加した。例年よりも米国からの参加者が多いことが本会議の特徴であった。米国を除く日欧以外の参加者は、UAE 3名、アルゼンチン、ブラジル、カナダ各2名、パキスタン1名などであった。日本からの参加者は、藤森裕基、藤本和士、伊東良晴、岩井芳夫、木村佳文、松林伸幸、宮岡寿樹、宮田竜彦、西山 桂、岡崎 進、斉藤真司、城田秀明、高椋利幸、牧野貴至、田浦俊明、鳥居 肇、吉田 健、吉田紀生の18名 (アルファベット順、敬称略) である。このうち、招待講演を岩井芳夫、松林伸幸、西山 桂、斉藤真司、吉田 健の各氏が担当した。

ポスター賞については、例年、若手研究者の優秀なポスター発表3件に対して贈られる賞 (賞状と副賞(200 Eur)) のほか、今回はスポンサーのPhys. Chem. Chem. Phys.からPCCP賞3件 (賞状、副賞(200 Eur)とPCCPの年間購読権) がConference Dinnerの際に授与された。いずれも順位付けはない。残念ながら日本からの受賞はなかった。

### ポスター賞

**Stella Schmode (University of Rostock, Germany)**

*“Introduction of a New Dye Based RTIL to Probe Hydrogen Bonds in Ionic Liquids”*

**Balazs Fábíán (University of Franche Comté, France; Budapest University of Technology and Economics, Hungary)**

*“Dynamics of the Water Molecules at the Intrinsic Liquid Surface as Seen from Molecular Dynamics Simulation and Identification of Truly Interfacial Molecules Analysis”*

**Pablo E. Videla (University of Buenos Aires, Argentina)**

*“Isotope Effects in Aqueous Solvation of Simple Halides”*

## **PCCP賞**

**Stylios Karozis (National Center for Science Research Demokritos; University of Crete, Greece)**

*“Modelling the Penetration of Ibuprofen through the Lipid Phase of Stratum Corneum”*

**Anne Knorr (University of Rostock, Germany)**

*“Spectroscopic Evidence for Clusters of Like-Charged Ions in Ionic Liquids”*

**Daniel J. Arismendi-Arrieta (Institute of Fundamental Physics, Spain)**

*“Ab Initio-Based Potentials for Studying Ion Solvation from Gas to Condensed Phases”*

第5日の15日(木)18:20から運営会議が、また、最終日16日(金)15:30から総会が行われた。主な審議事項は次のとおりであった。

- 2015年会計について収支が述べられ、Prof. Oleg N. KaluginとDr. Balazs Fábiánが監査したことが報告され承認された。
- EMLG Chairについて、Prof. Pál Jedlovszkyが継続して3年間務めることが承認された。
- 2017年以降のEMLG/JMLG Annual Meetingの日程および開催地が決定された。

2017年9月10日(日)–14日(木): Vienna, Austria; Chair: Prof. Sofia Kantorovich (University of Vienna)

2018年11月4日(日)–8日(木): 名古屋大学東山キャンパス、Chair: 岡崎 進教授 (名古屋大学)

2019年: Cesky Krumlov, Czech; Chair: Prof. Ivo Nezbeda (Academy of Sciences ICPF)

2020年: Barcelona, Spain; Chair: Prof. Giancarlo Franzese (University of Barcelona)

以上